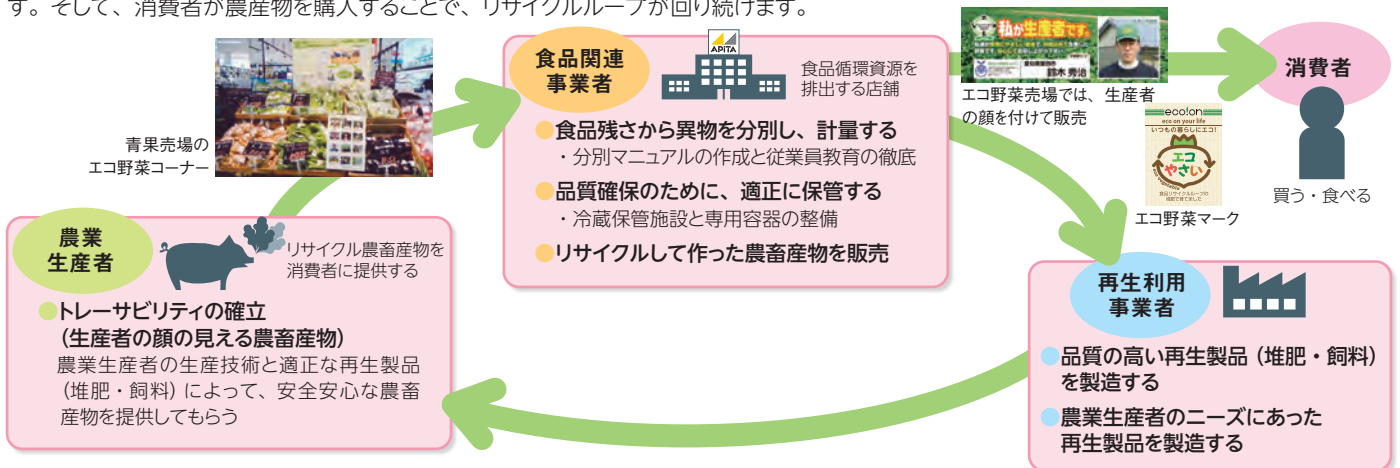


食品リサイクルループの構築

リサイクルループを構成するパートナーシップ

ユニー、再生利用事業者、生産者がそれぞれの役割を果たすことによって、リサイクルの環が完成します。食品を無駄にせず、ゴミも減らすことができる地球にやさしいライフスタイルです。リサイクルの環で作った野菜や肉、卵は安全安心でおいしく、作った人の顔の見える農産物です。そして、消費者が農産物を購入することで、リサイクルループが回り続けます。



リサイクルループを有効に運用するために

店舗の所在地で食品リサイクルループを構築し、地域の再生利用事業者や農業生産者とパートナーシップを図っていくことがユニーの方針です。環境担当者は、優良な堆肥や飼料を製造する再生利用事業者と組み、また、生産された農畜産物を仕入れ販売することは、商品部や店舗担当者の仕事です。リサイクルループを円滑に推進するために、定期的に情報を交換し課題を解決しています。

環境担当者の役割

食品残さをリサイクルするためにパートナーを探す

リサイクルループで生産した農作物を販売することを目的としてパートナーを探す

再生利用事業者の製造する堆肥・飼料の品質確認。

再生製品(堆肥や飼料)を利用する農業者を探す

地産地消を前提に生産技術の高い農業者と組む。

仕入れ担当者・販売担当者の役割

リサイクル農作物を販売

生産された農作物を販売するために、社内で検討する

農畜産物の生産履歴・品質が社内基準を満たす。

農業生産者と食品関連事業者がパートナーシップを図る

販売計画を基に生産計画を立て購入契約を結ぶ。

売場ではリサイクル作物の特徴を消費者へ十分にアピールする

売り場に、「安全・安心な農作物」であることを明示。

2014 愛知環境賞で銀賞を受賞

愛知県では、2005年からJAグループと連携し食品リサイクルを推進してきました。刈谷市の再生利用事業者のヒラテ産業とJAあいち経済連と行った堆肥化の取り組みです。この取り組みは、2007年に食品リサイクル法の再生利用事業計画として全国初の認定を受けました。同年には「第1回食品リサイクル推進環境大臣賞最優秀賞」も受賞しています。また一宮市のディーアイディーでも、同様の取り組みを開始し、2008年にリサイクルループの認定を受けています。

その後「エコ・ファーストの約束」に基づき、1府18県に拡大して15件の食品リサイクルループを完成させました。こうした取り組みが地域循環型モデルとして先駆的であり、他への波及効果も期待できると評価され、愛知環境賞での銀賞受賞にいたりしました。

地域に根ざした循環型農業は、地産地消・食の安全にも繋がります。生物多様性にも貢献しています。今後はグループ企業であるサークルKサンクスや同業他社と一緒に地域循環圏の構築を目指します。

D.I.Dバイオマスリサイクルシステム・JAグループ(愛知県)

●サークルKサンクスを環の中に組み入れ、さらに食品残さの搬入地域を拡大しました



第22回「食品安全安心・環境貢献賞」を受賞

ユニーは、日本食糧新聞社が制定(農林水産省・環境省後援)した第22回食品安全安心・環境貢献賞を受賞しました。食品リサイクルループなどステークホルダーとともに進める継続的な環境保全活動が評価されました。



受賞の挨拶をする大野業務サポート本部長



表彰式(右/大村愛知県知事、中央/表彰状 佐古社長、左/EPOC新美会長)

